

富良野流修学旅行

体験・実習型環境学習プログラム

~~~~ Do, feel, Think... Nature ~~~~

はじめに

富良野といえばラベンダー、北の国から、スキー、空気がきれい、北海道らしい景色・・・などの言葉が連想されますが、富良野を修学旅行の目的地に選ぶ大きな要因のひとつに「北海道らしい大自然に触れること」が挙げられるようです。

私たちは普段の生活の中に自然があり何気なく見過ごしてきましたが、その自然の大切さに気付き、その自然を守り、活用し、共存する活動を始めました。

その活動を修学旅行の皆様にも理解していただくため、今までのただ単に自然を体験することだけでなく、その自然を守り共存する意味を学習し、その大切さを心に残していただくプログラムづくりを始めました。

一過性のアトラクションではなく富良野の自然体験を重要な学習要素と位置付け、「自然を楽しんでいただくこと」から「自然を感じ考えていただくこと」のプログラム作りに取り組んでいます。

昨今、新聞・テレビなどで毎日のように「地球温暖化」「異常気象」「環境破壊」などの「環境問題」が報じられています。このプログラムは環境問題を身近な問題として考えられるものであり、自分たちが環境問題(エコ)について考え行動する(モーション) きっかけになるような、新しい富良野の体験観光(エコモーション)をご提案いたします。

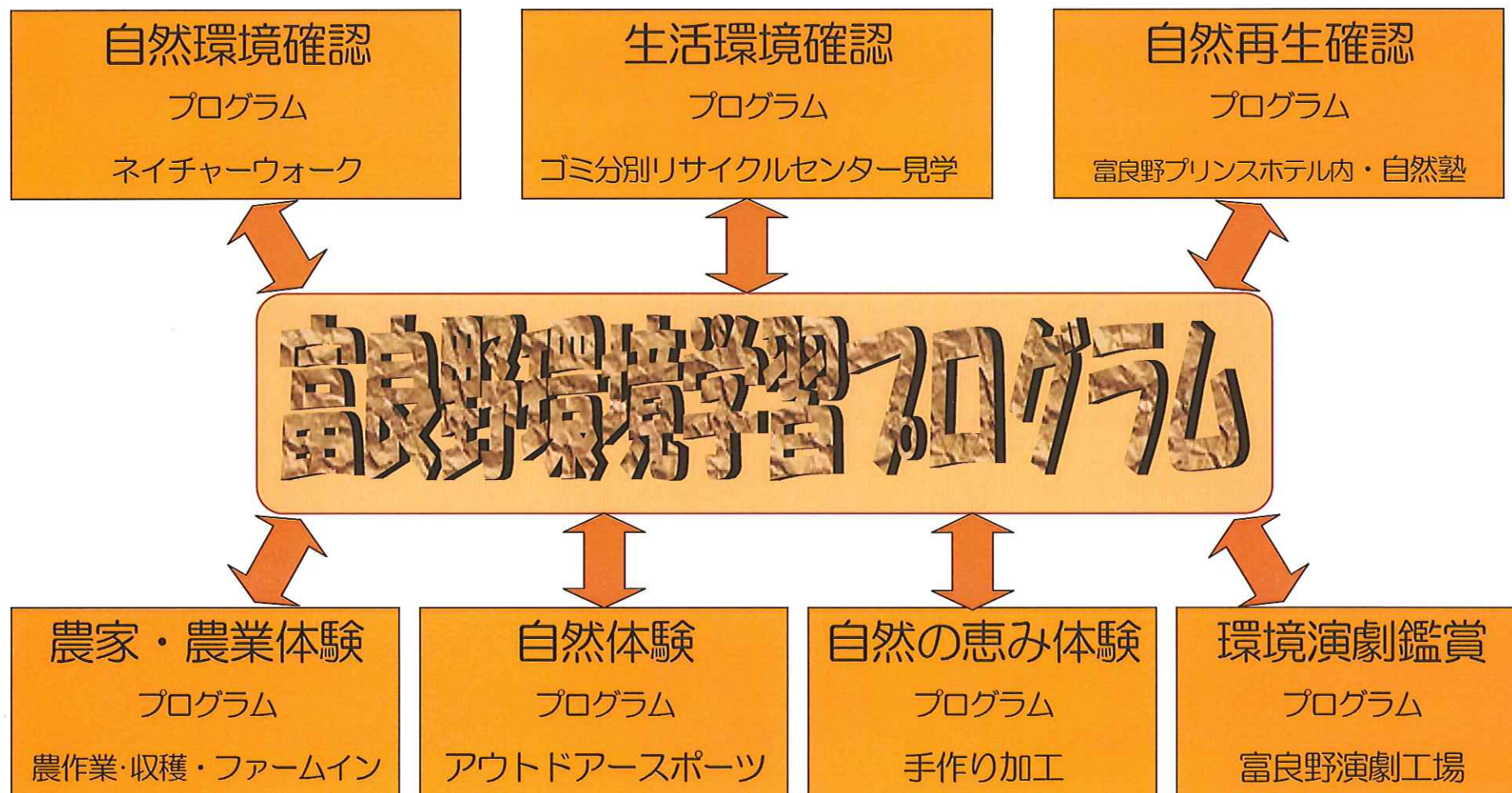
キーワードは

「 Do, Feel, Think…Nature 」 です。

詳細は「ふらの観光協会」ホームページ <http://www.furanotourism.com> をご覧ください。

富良野環境学習プログラムは学校様の学習テーマに対応したメニューの選択が可能です。  
学年全体・クラス別・選択別など自由にプログラムを選択し組み合わせてフィールドに出る体験です。

「見て・聞いて・体験して・考える」プログラムです



## 生活環境確認プログラム (ゴミの分別～リサイクル)

富良野市では「燃やさない、埋めない」をスローガンに、徹底した分別とリサイクルによるごみの減量化に取り組んでいます。

平成13年からゴミの減量化を目的にゴミ袋の有料化に踏み切り、住民もゴミ分別（14種区分24分類）に協力・実行しています。

近年、環境問題・特にゴミ処理問題は各自治体とも最重要課題となり、「容器包装リサイクル法」「家電リサイクル法」や「ゴミ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」などの法令により、ますますゴミ処理問題への自治体の取り組み強化が重要になってきました。

富良野では全国に先駆けてゴミ処理問題に官民一体で取り組み「富良野方式」と呼ばれる資源循環型の街づくりを構築し、平成15年にはゴミのリサイクル率93%を達成。その取り組みを参考にしようと、全国の行政や関係機関から最盛期には年間200件もの視察団が富良野を訪れています。

富良野といえば国民的なドラマ「北の国から」が連想されますが、ドラマの随所に富良野のゴミ問題の取り組みやその目的などが織り込まれています。主人公黒板五郎の息子純君は「95 秘密」で役所の清掃臨時職員になり、五郎さんは生ゴミを堆肥にしていました。

五郎が最後に住んだ「石の家」や五郎が作った「拾って来た家」はそのまま残され観光名所にもなってそのメッセージを送り続けています。

富良野は豊かな自然を守り・生活環境を守る努力をしています。その「富良野方式」の一部をご紹介します。

## 生ゴミの堆肥化

昭和57年当時は生ゴミを含め全て埋め立て処分を行っていましたが、悪臭や有毒ガス、汚水による環境汚染や衛生問題が発生しました。

あと数年で処分場が埋め尽くされてしまうという状況で、生ゴミを資源化する方法を検討することとなり、その中から生ゴミを堆肥化させる取り組みが始まりました。

時を同じくして富良野の基幹産業である農業関係者の間では、市の農政課が「土づくり運動」を提唱し、生産性を高めるために使ってきた化学肥料の使用を見直し、土が持っている本来の機能を回復させ「肥えた土」づくりに取り組みをはじめました。現在では、生ゴミ・し尿・浄化槽汚泥を一括処理する資源循環型施設「汚泥再生処理センター」(処理能力：生ゴミ22トン/日・し尿46KL/日・浄化槽汚泥14KL/日)を稼働させ、生ゴミ・し尿・浄化槽汚泥の適正処理と併せて堆肥を製造し、農協を通して農家に販売しています。富良野の農業は化学肥料を少なくし堆肥などの有機肥料を利用することにより、安全で安心な農作物の提供を目指しています。

## 可燃ごみの固形燃料化

富良野市のゴミの排出量は1年間で約1万トン。埋め立て処分を焼却処分する焼却施設を建設すると10億円以上の建設費と維持管理費用がかかる。同じ費用手間が掛かるならリサイクル施設を建設したほうが、焼却処分する際に発生するダイオキシンなどの問題も生じないなどメリットもあるということで、新聞・雑誌・衣類・布・布団・皮革製品などは固形燃料化することとしました。

集められたゴミは破砕機や磁選機など一連の作業工程を経て精製されてゆきますが、ポイントは人間の手による「手選別」と「手分類」です。

分別の徹底により富良野のゴミは不適物が少ないとされていますが、最終的には人間の目で確かめ選別し、選別した不適物をさらに鉄類や可燃物などに分類し驚くほどの手間をかけゴミ分別の精度を高めています。

昭和60年有機物供給センター建設に続き、昭和63年に固形燃料化工場が完成でゴミの総排出量の58%をリサイクルすることになりました。



固形燃料の熱量は石炭とほぼ同じの1kg当たり5,000kcalで年間2000トン生産し市外の製紙工場へ売却されます

## 処理場見学について

「富良野リサイクルセンター」（固形燃料化施設）および「汚泥再処理センター」（生ゴミ堆肥化施設）の見学が可能です。

## 「拾って来た家」「五郎の石の家」 見学について

処理場見学と組み合わせて「北の国から」の舞台になった麓郷地区の「拾って来た家」や「五郎の石の家」などの見学をおすすめいたします。

ドラマの重要なメッセージのひとつ「物を大切にする」「物を捨てない」ことの意味を感じることができます。

### 「拾って来た家」

「北の国から」の最終回「2002 遺言」で主人公黒板五郎が廃材を利用して作った家です。  
大量廃棄社会への警鐘を鳴らすものであり、廃材の利用（工夫）が面白く人気を集めています。

### 「五郎の石の家」

麓郷のあちこちに山積みにしてある石（開墾時に畑から大量に出て来きた石）に着目し、その石を利用して作った家



# 自然再生確認プログラム

## (富良野プリンスホテル内・C・C・C富良野自然塾)

「北の国から」の作者、富良野在住の脚本家倉本聰さんが主宰する自然再生確認プログラム

富良野プリンスホテルゴルフコースが閉鎖されるのに伴い、その中の6ホール約35ヘクタールを利用して平成18年に開塾しました。

### ① 自然返還事業

種から育てた苗木や山から採った苗木をカミネッコンと呼ばれるダンボールのポットに移して植樹します。

### ② 環境教育事業

直径1mの「石の地球」で地球のことを学んだり、46億年の地球の歴史を460mの距離に置き換えた「地球の道」をインストラクターの説明を聞きながら歩いて、人類が誕生してからの時間の長さを実感したり、人類が化石燃料などの資源を使い爆発的に人口を増やしてきた様子などをわかりやすく学びます。

その他、目を閉じて裸足で歩くことによって普段使わない様々な感覚を研ぎ澄ます「裸足の道」や、全く光のない闇の世界を体験する「闇の教室」など、多彩で示唆にとんだ体験型の学習ができます。



## 自然環境確認プログラム (ネイチャーウォーク)

富良野盆地は東京の山手線とほぼ同じ大きさで、その東側を十勝岳連峰・西側を夕張山系がそびえ立ち、美しい景観を形成しています。

その十勝岳連峰と夕張山系では生態系の違いも見られ、道内屈指のネイチャーウォークポイントとして知られています。

また、十勝岳連峰中腹の白金の森は 十勝岳の噴火により森の一部が消滅し、その後再生した森や噴火の影響を受けなかった森など多彩な森の形成を見せる貴重な森で、遊歩道が整備されています。

富良野が「北海道らしい」「豊かな自然がある」まちと評される所以です。



## 自然体験プログラム (アウトドアスポーツ)

「自然があるから楽しめる」ということは「楽しむためには自然を守らなければならない」という考え方を基本にします。

「自然＝環境」を守るということはどういうことか、どうしたら守れるのか、自分は何をすればいいのか、何ができるのかを体験を通して考えていただけるようなプログラムです。

北は美瑛地区のレンタサイクル、南は南富良野町のラフティングまで富良野盆地全体を利用しアクティビティーにあったフィールドでの体験です。

富良野の大自然を存分に楽しんでいただきます。今まではただ単に富良野の大自然でアウトドア体験を「自然を楽しんでいただくこと」を第一に考えてご案内してきましたが、「富良野環境学習プログラム」の趣旨に沿って「自然を楽しんでいただく」ことから一歩進めて「自然を楽しみながら考えていただく」メニューへと進化させました。



## 自然の恵み体験プログラム (手作り体験)

食品加工やネイチャークラフトでは使用する素材（自然の恵み）がどういうもので、私たちにとってどういう恵みをもたらしてくれるかを解説しながら普段の生活ではできない手作り体験をご案内します。

地元富良野の食材や北海道の食材を加工してジャムやアイス、パンやバターを作ります。

食品加工は添加物（防腐剤）や着色料を使用しないナチュラル製法ですので自然のおいしさを楽しめます。

食品加工ではありません。ネイチャークラフトはクラフトキットではない自然の素材（木の実や小枝）を利用して自分で作品を作ります。



# 環境演劇鑑賞プログラム

(富良野演劇工場)

富良野演劇工場はNPO法人全国第一番目認証団体である「ふらの演劇工房」が運営する全国でもめずらしい公設民営シアターです。

脚本家倉本聰さんが主宰する演劇集団「富良野塾」のホームシアターでもあり、富良野市民も演劇を気軽に楽しめる文化的環境を享受しています。

演劇工場は民営シアターですので堅苦しい利用制限などは極力少なくし広く一般に公開されています。

しかしながら、民営シアターといえども音響設備などは大劇場に肩を並べるほどの機能・設備を有しており、その内容は高く評価されています。

この演劇工場での富良野塾生による環境演劇「地球、光りなさい!」は「環境・自然・友情・人間愛」などをテーマに公演されており、「環境問題」を演劇によって問題提起するものです。今年全国各地で公演を行い、その内容は「環境プログラム」に連動し高い評価を受けました。

また、演劇工場は安価にてシアター貸切が可能ですので「体験報告会」やインストラクターや学識経験者を招いての「環境問題討論会」など学習効果を高めるプログラムや夕食後の時間を利用したリクリエーションとして「ヨサコイ体験」や地元の「ヘソ踊り体験」なども企画できます。



# 農家・農業体験プログラム

## (農作業・ファームイン)

各農家さんに生徒さん10名前後を割り振り致します。

富良野各地区の農家さんに分散いたしますので、おおよそ1クラス1地区4軒程度で受け入れ致します。

受け入れ地区は山部地区・麓郷地区・扇山地区・中富良野地区などとなり、宿泊ホテル（北の峰地区）からの移動時間は15分～30分程度になります。

受け入れ地区は各地区農家さんと協議の上決定し、ご連絡させていただきます。

### ＊＊受け入れ人員について＊＊

1回の受け入れ人員は6クラス程度（午前・午後で6クラスずつ受け入れ可能です）

### ＊＊体験内容について＊＊

農家さんによって作付け内容が違いますので、全員同じ農作業になることはありません。

また、体験時期によっても植え付けや収穫体験があるとは限りませんので、農家さんの雑用仕事になる場合もあります。

### ＊農業体験料金（税込み）

- 1、宿泊料金 1泊2食 7,350円
- 2、農業体験 終日6,300円、半日（午前または午後）3,675円
- 3、昼食、その他諸費用1,050円

★★農業体験のご利用マニュアルをご用意しておりますのでお問い合わせください。★★

## ファームイン研究会

高校生や中学生の修学旅行で宿泊と農業体験をセットで受け入れを行っています。

受入れ人員は一施設15名～40名で、富良野ファームインでは6施設（ペンションまたはコテージ）で最大148名まで受け入れ可能です。

また、受け入れ人数が多い場合は美瑛・新得地区のファームイン協議会と連携し美瑛地区5施設120名、新得地区5施設82名で受け入れ可能ですので、全地区合計で16施設350名までの受け入れが可能です。

### 1、 宿泊

農家さんが経営している宿泊施設に泊まって、自家農畜産物のもとより地域で生産された米やジャガイモ、カボチャなどを食材として使った家庭料理が主体になります。宿泊施設周辺には広大な緑豊かな自然に囲まれた静かな環境で、晴れた夜には星の観察会もできます。

### 2、 農業体験

農業体験は各ファームが経営している農場を主体に行われますが、周辺の農家や加工施設での体験も含まれます。

農業体験は終日（午前8：45分～11時45分、午後1時30分～4時45分）または半日（午前・午後のどちらか）単位でお受けします。

#### \*農業体験の概要

##### イ、食と農業について

現在の日本の食料自給率は約40%（輸入60%）となっていて、農業者の50%が65歳以上の高齢化が進行している

##### ロ、米やジャガイモ、カボチャ等の栽培管理と収穫

##### ハ、家畜としての乳牛や和牛（肉用牛）の飼育管理と飼料生産など

##### ニ、地域で昔作られてきた食べ物作り、乳製品やジャムなどの食品加工など

##### ホ、地域で作られるドライフラワーは木工の小物づくりなど

##### ヘ、昔から戦後まで使われていた五右衛門風呂の入浴と焚きつけなど

#### \*農業体験料金（税込み）

1、宿泊料金 1泊2食 7,350円

2、農業体験 終日6,300円、半日（午前または午後）3,675円

3、昼食、その他諸費用1,050円